

財団処理欄	受付No.
提出日	平成27年

記入例

JR西日本あんしん社会財団 御中

## 平成28年度活動助成申請書

※実際の申請は、応募フォームからとなります。この記入例を参考に応募フォームから必要事項を入力の上申請してください。

## 1. 助成金により実施される活動等

## (1) 申請分類

今回の申請が当てはまるものにチェックを入れてください。なお、平成27年度に助成を受けている団体が、平成28年度は別の内容の活動で申請を行う場合は、「新規助成」とします。

<input checked="" type="checkbox"/>	新規助成	<input type="checkbox"/>	継続助成(平成27年度助成対象活動と同一内容)
<input type="checkbox"/>	特別枠	東日本大震災、平成23年台風12号災害または平成26年広島土砂災害に関する支援活動	

## (2) 活動名称/助成金申請額

活動名称※	地域防災ネットワーク支援活動		
助成金申請額	70	万円	(1万円未満の端数を切り捨てた額) ※70万円を上限とします

※「活動名称」は分かりやすい簡潔な名称を記入してください。(文字数制限: 40文字)

## 2. 申請団体

団体名	フリガナ	アンシンシャカイサポートクラブ		
	団体名	あんしん社会サポート倶楽部		
設立年月日(経過年月)	平成 21 年 4 月 25 日 (平成27年10月1日現在、設立後 6 年 6 月)			
団体種別	<input checked="" type="checkbox"/> 任意団体	<input type="checkbox"/> NPO法人	<input type="checkbox"/> その他:(詳細)	
所在地	〒	530	-	8341
	フリガナ	オオサカシキタクシバタ		
	住所	大阪市北区芝田二丁目4-24		
	電話	06-6375-3202	Fax	06-6375-3229
	E-mail	<a href="mailto:info@jrw-relief-f.or.jp">info@jrw-relief-f.or.jp</a>		
	URL	<a href="http://www.jrw-relief-f.or.jp/">http://www.jrw-relief-f.or.jp/</a>		
代表者名 <input type="checkbox"/> ※主な連絡先にチェックを入れて下さい	役職	理事長	フリガナ	ザイセイ ミツコ
			氏名	財政 満子
	電話	06-6375-3202	Fax	06-6375-3229
代表者以外 の連絡先 <input checked="" type="checkbox"/> ※代表者とは別の方とし、必ず登録してください。	役職	副理事	フリガナ	ザイダン タロウ
			氏名	財団 太郎
	電話	06-1234-5678	Fax	06-1234-5678
団体の構成員	総数	55 名 (会員等団体に関係する総人数を記入してください)		
	(再掲)	10 名 (うち、通常活動する際に従事する役員及び構成員数を記入してください)		
団体の活動目的(全角100文字以内)	高齢者が多い地区の地域防災に関する様々な支援活動。			
団体収支  ※別途資料添付の場合は、参照ボタンから添付してください	収入	費目/内容	平成26年度決算(円)	平成27年度予算(円)
		会費等	¥ 650,000	¥ 650,000
		寄付金・助成金	¥ 1,000,000	¥ 1,000,000
	支出	繰り越し金等その他	¥ 250,000	¥ 500,000
		事業費	¥ 1,200,000	¥ 1,500,000
		管理費	¥ 200,000	¥ 200,000
収支差額		¥ 500,000	¥ 450,000	

※団体収支は全ての事業を総合した収支状況を必ず記入してください。

3. 助成活動計画

<記入方法> 助成金により実施される活動の計画を項目毎に以下のとおり記入してください。

上2段(①・②欄)：各項目について概要を箇条書きで分かりやすくまとめてください。

詳細：各項目の内容についてできるだけ詳細に記入してください。

※各項目において補足説明等が必要な場合は、「6. 補足記入欄」に記入してください。

<p><b>【目的】</b> この活動を行うこととなった目的を記入してください。 ※継続助成の場合は、継続の必要性について必ず記入してください。</p>
<p>①：高齢化社会の進行による地域防災力の低下を防ぐ</p>
<p>②：地域間のネットワーク化で総合的な防災力の向上を図る</p>
<p>詳細</p> <p>現在、日本の至る所に高齢化社会の波が押し寄せてきています。そのような中、高齢者を中心とした地域防災力の低下については非常に懸念されることであり、一旦災害が発生すると必要以上に被害が拡大することが予想されます。そこで、私達「あんしん社会サポート倶楽部」は、近畿圏の地域間ネットワーク化の架け橋となる様々な活動を行うことで、地域防災力の低下を防ぎ、総合的な防災力の向上を図る取り組みを行っています。</p> <p>2009年に発足してから、今ではようやく50人を越える老若男女の様々なメンバーが集まり、様々な支援活動を行っています。ここ数年は、以下に示す活動を行っています。</p> <p>.....</p> <p>..... (中略) .....</p> <p>.....といったような様々な活動に取り組んでまいりました。多くの地域に感謝され、少しでもそのお手伝いができることを私達自身も非常に嬉しく感じこの活動に取り組んでいます。</p>



<p><b>【実施方法】</b> この活動の実施方法について記入してください。 詳細欄には、内容に関する詳細とあわせて具体的な活動スケジュール(いつ、何を、どう行うか)を記入してください。</p>		
<p>①：高齢化している過疎地域への防災出前講義</p>		
<p>②：地域間での合同防災イベントや防災訓練の実施</p>		
<p>詳細</p> <p>◆高齢化している過疎地域への防災出前講義について 高齢化している過疎地域の地域住民を対象に、防災に関するニーズ等を把握のうえ、基本的な防災知識に関する出前講義を実施していきます。詳細については、以下に述べますが、まず第一に</p> <p>..... (中略) .....</p> <p>.....、これらの地域ニーズを十分に把握したうえで出前講義を実施していきます。(10~12月に月2地区【1地区につき20名程度】を予定)</p> <p>◆地域間での合同防災イベントや防災訓練の実施について 近隣地域や距離的に遠く離れていても環境特性が似通っている地域等で合同による防災イベントや防災訓練を実施します。 具体的には以下に示す通りです。</p> <p>..... (中略) .....</p> <p>.....のような方法で実施し、1回につき200名の参加予定で2回の防災イベントを行います。</p>		
<p>時期(年月日)</p>	<p>活動事項</p>	<p>活動の具体的内容</p>
2016年4月~5月	活動対象地域の選定	対象地域を調査のうえ選定し企画概要を決定する
2016年6月~8月	活動準備	対象地域との調整、詳細企画の決定等を実施
2016年9月6日	合同防災イベント・訓練の実施	選定地域で様々な趣向をこらした防災イベントを実施する
2016年10月~12月	防災出前講義	高齢化している過疎地域を対象に防災講義を実施する
2017年1月~2月	活動準備	対象地域との調整、詳細企画の決定等を実施
2017年2月予定	合同防災イベント・訓練の実施	選定地域で様々な趣向をこらした防災イベントを実施する





<b>【成果】</b> この活動で得たい成果について記入してください。 <b>※継続助成の場合は、継続の必要性について必ず記入してください。</b>
①： 高齢化している地域の防災力が向上する。
②： 地域間のネットワーク化で総合的な防災力が向上する。
詳細 防災出前講義を実施することで、地域の防災力を向上させることが可能となります。 その理由は以下に述べるとおりです。 ..... ..... (中略) ..... ..... .....といたったことがあります。実施方法の詳細で述べたような理解しやすい方法であれば、高齢者にも容易に防災知識が普及し、基礎的な地域防災力の向上にも繋がると考えられます。 また、環境特性を考慮し、同種の長所、短所を洗い出したうえで、実施方法の詳細で述べた方法をおこなえば、地域間のネットワーク化が容易に進み、当該地域全体の総合的な防災力が向上すると思います。私達の活動を通じて、一人でも多くの方に防災知識を普及することが可能だと確信しています。

4. 行政機関、公的団体、財団法人などの他団体等からの助成状況  
 (平成27年度の実績及び平成28年度の申請状況を記入してください。なお、各表の「状況」の欄には、『助成中』、『申請中』、『終了』等現在の状況を記入してください。)

①平成27年度における助成実績 **※当財団から助成を受けている場合も、必ず記入してください。**

団体名等	テーマ	助成金額 (円)	助成期間	状況
社会福祉基金	高齢者への心のサポート	¥ 500,000	2015年4月～2016年3月	助成中
災害助け合い支援財団	防災講義の開催	¥ 500,000	2015年4月～2016年3月	助成中

②平成28年度の申請状況 (現在応募中若しくは既に決定しているもの)

他団体名等	テーマ	助成金額 (円)	助成期間	状況
災害助け合い支援財団	防災イベントの開催	¥ 300,000	2016年4月～2017年3月	申請中

5. 活動収支

- ・助成活動に関する全収支計画を記入し、「活動資金」の合計額と「使途（内訳）」の合計額との金額が一致するようにしてください。
- ・当財団からの助成金の使途が分かるように、助成金を使用する項目では「（内 助成金充当額）」の欄に、使用する助成金額を再掲してください。（当財団助成金＝内 助成金充当額計）
- ・各項目における計画額の内訳と算出根拠を詳細に「内訳・算出根拠」の欄に記入してください。

項目		計画額（円）	（内 助成金充当額）	内訳・算出根拠
活動資金	当財団助成金	¥ 700,000		※1万円未満の端数を切り捨てた額を計画額に掲載
	自己資金	¥ 300,000		他財団からの助成金を想定
	利用者等負担金			
	その他			
	計	¥ 1,000,000		
使途（内訳）	旅費交通費	¥ 216,000	¥ 72,000	防災出前講義交通費（関係スタッフ6名予定） ※訪問先、スタッフ数は変更の可能性あり ・大阪～佐用（往復10,000円×6名=60,000円） ・大阪～福知山（往復10,000円×6名=60,000円） ・大阪～紀伊田辺（往復1,000円×6名=60,000円） ・大阪～大津（往復2,000円×6名=12,000円） ・大阪～奈良吉野方面（往復4,000円×6名=24,000円） ※一部自己資金を充当
	会議費	¥ 50,000	¥ 50,000	会議室レンタル料 50,000円（8時間レンタル）
	通信運搬費	¥ 24,480	¥ -	アンケート郵送（切手@82円×40人×6回＝19,680円、封筒@20円×40人×6回＝4800円）
	印刷製本費	¥ 58,000	¥ 58,000	・講義テキスト（@200円×40人×6回＝48,000円） ・イベント開催告知チラシ制作（A4カラー1箱【250枚×10冊】＝10,000円）
	図書費	¥ 13,520	¥ 10,000	防災講義実施にあたっての参考書籍・資料 ※一部自己資金を充当
	什器備品費	¥ 100,000	¥ 100,000	・イベント使用の避難梯子（@50,000×2＝100,000円）
	消耗品費	¥ 200,000	¥ 200,000	・イベント使用 防災グッズセット（@20,000円×10セット＝200,000円）
	委託費	¥ 102,000	¥ 102,000	・イベント告知ポスター委託制作費100,000円 ・ポスター印刷費（@20円×100枚＝2,000円）
	諸謝金	¥ 108,000	¥ 108,000	・講師謝金50,000円×2回 ・講師交通費 5,000円+3,000円＝8,000円
	人件費	¥ 128,000	¥ -	・イベント開催時 外部スタッフ人件費 @8,000円×8名×2回＝128,000円
	計	¥ 1,000,000	¥ 700,000	

内訳や算出根拠については単価や根拠となる理由を詳細に記入してください。

《参考》

活動収支作成の際は、以下の項目（費目）を参考に作成してください。

○収入の部

- ・既に入力されている項目

○支出の部

- ・旅費交通費 … 活動を実施するために必要となる団体職員等の出張旅費など
- ・会議費 … 会場使用料、会場設営費、お茶代など
- ・通信運搬費 … 郵送料、宅配便代など
- ・印刷製本費 … ポスター、パンフレット等の印刷代や資料等複写代など
- ・図書費 … 活動に必要な書籍等の購入費
- ・広告宣伝費 … 活動の開催告知など新聞、雑誌等で広告するための費用
- ・什器備品費 … 一件5万円以上で活動の実施に必要な備品等の購入費用
- ・消耗品費 … 一件5万円未満で活動の実施に必要な備品等の購入費用
- ・賃借料 … 設備、機械、器具、備品などの借料
- ・委託費 … 活動の実施に関する委託を行った際の費用
- ・諸謝金 … 活動に必要な団体関係者以外に対する謝礼金や旅費、交通費、宿泊費など（団体メンバーの人件費は対象外）
- ・人件費 … 活動を行うことにより新たに必要となるアルバイト代など（**団体メンバーの人件費は対象外**）
- ・その他費用 … 上記各費目に該当せず、特に必要なその他の経費

・全体の活動資金の合計額と使途（内訳）の合計額が合うように記入してください。

・各使途の項目に対して、当財団の助成金はいくら充当するのかをしっかりと記入してください。

6. 補足記入欄

上記の他に助成金により実施される活動に関して特に補足説明することがあれば記入してください。但し、次の項目に該当する場合には、必ず記入してください。

- ①既に当財団から助成を受けている場合には、その活動状況や課題、継続助成の必要性
- ② **特別枠** 東日本大震災、平成23年台風12号災害や平成26年広島土砂災害に関する支援活動への申請の場合には、活動参加者の災害支援経験、専門知識、公的資格等活動実施時の強み

◆補足

当団体は設立してまだ6年余りです。これまで、活動を進める中で様々な悩みもありましたが、ひとつひとつ克服し、逆にそれを強みに変えてきた経験があります。例えば

補足記入欄については上記①、②の場合以外にも、申請書の他の欄で記入しきれなかったことなど、今後の審査にあたり、ぜひとも伝えたい情報等があれば記入してください。

(中略)

.....といったことです。こういった強みを生かすことで、地域の防災力が確実に向上すると思います。

7. 役員名簿

※

必ず役員名簿を入力画面上の参照ボタンから添付してください。

8. その他、添付資料

その他、任意で必要な資料があれば、入力画面上の参照ボタンから添付してください。

<アンケート>

本公募助成の広報活動についてアンケートにご協力をお願いします。なお、ご回答の内容は、審査・選考に一切影響いたしません。

Q. 本公募助成を何でお知りになりましたか。該当する項目すべてに○をつけ、⑥⑦⑧⑨を選択された場合は、具体的にご記入ください。(複数回答可)

- ①ホームページ/ブログ
- ②広報誌“Relief”
- ③財団からの直接の案内
- ④駅掲示のポスター等
- ⑤JR西日本ホームページ
- ⑥新聞記事、専門誌
- ⑦当財団以外の団体からの紹介
- ⑧知人からの紹介
- ⑨その他

具体的記載